

令和4年度 一学期始業式 式辞

他人ごとではなく自分事

おはようございます。2年前は学校休業で始業式は中止。昨年はグラウンドでの始業式、今回久しぶりの体育館での始業式です。

さて、まずはコロナです。3月15日に終業式を行ったのですが、以降約3週間で登美高生の陽性者数は14名、そのうち今週だけで7人。

学校でのルールが変わって、昨年度は、一人罹患したら、学校は3日間の休業だったのが、今今は、インフルエンザのように、クラスやクラブで15%以上陽性や濃厚接触になったら学級閉鎖・クラブ閉鎖、複数の学級閉鎖で学年閉鎖、のような形になっていますので、前よりは目立たないのですが、相変わらず流行っています。他人ごとではありません。マスク・黙食。注意しましょう。

そして連日報道されているウクライナ情勢。実は先日卒業した70期生の代に、プロのバレリーナをめざして、ベラルーシのバレエの学校に転校した生徒がいます。転校したのが今年の夏。海外でもあり、その学校の状況がわからないので、念のために登美丘高校に籍は置いています。しかし、ロシアがウクライナに侵攻し、冬のパラリンピックの措置がそうであったように、ロシアとベラルーシは一体とされていますので、今その生徒は、危険を回避するために、自分の夢は保留して、一旦帰国しています。その進路は現在相談中。ウクライナの街が破壊されているニュースを連日テレビで見っていますが、この出来事で、人生を翻弄されている人間が、登美高生にもいます。他人ごとではありません。自分がゼレンスキー大統領だったらどうするか。ウクライナ市民だったらどうするか。その登美高生のようにベラルーシに留学していたらどうするか。考えましょう。

続いて、4月から18歳が成人となります。この中にも続々とこれから成人となっていきます。クレジットカードも自分で作れますし、部屋も借りられる。危険は危険なのでものごく注意は必要ですが、そもそもは、世界のほとんどがそうのように、18歳は大人なんです。そして成人年齢を18歳に下げたコアの考え方は世の中を良くするための政治参加です。世の中は誰かが良くしてくれるわけではありません。まさに他人ごとではありません。自分で考えていきましょう。

最後に、今度は身近な話。登美丘高校、今期は創立99年です。今年の6月19日に、1年前のブレバントを予定しています。その時に、100周年記念ダンスの映像が発表される予定です。みなさんのご協力を得て、ダンス部メンバーのダンスシーン、部活のみなさんの全員ダンスのシーン、そして32のうち18のクラブの部活シーンの撮影が終わりました。今日この後お願いします。撮影の残っている14のクラブの自己紹介動画撮影を各クラブでお願いします。10秒くらいのカットです。すべてのクラブが参加することが必須ですので、ぜひ前向きにお願いします。学校の100周年は100年に一度。他人ごとではありません。

ん。参加するととても楽しくなります。一緒に盛り上げていきましょう。

はい、他人ごとでない事のお話をしてきましたが、主体性・当事者意識は、人生を磨いていくうえでとてもなく大切です。「自分は、自分の人生の主人公」という言葉がありますが、自分の人生を豊かにするためにも、今年度、全ての事は、他人ごとではなく、自分事と捉えていきましょう！

この学校には、その手助けをしてくれる、新たに転勤してこられた教職員を含め、素敵な大人がたくさんいますので、ともに考え、ともに行動し、楽しい一年にして、来年の100周年に弾みをつけていきましょう。よろしくお願いします。

令和4年4月8日

大阪府立登美丘高等学校長 山本哲哉